

②学校関係者評価

領域	短期経営目標	具体的方策	学校関係者評価	学校関係者評価を踏まえた次年度の方策等	
健やかな心と体の育成	・心の教育の推進	・基本的な生活習慣「春日小のやくそく」を確立させる。	・中学校でも春日小の子どもたちはあいさつができています。高校でも必要となりますので、大切にしていきたいです。 ・登下校中の見守りや立ってくださっているシルバーさんにも自らあいさつができるといいなと思ってます。 ・時々登校中の児童に「おはようございます」と声をかけますが、挨拶がcaえつくる子はあまりいません。しかし、校内できちんと挨拶できていれば、まずは良いかと思えます。 ・小学校の指導に感謝しています。中学校でもよくあいさつしてくれます。 ・こちらからも挨拶するよう心がけています。 ・私のほうから先に挨拶をするようにしているため、いつも挨拶を返してくれる児童が多いです。	子供たちは86%が挨拶できていると思っている。 挨拶は人に伝わってこそ意味があるので、校内・校外問わず自分から挨拶ができるような指導を今後も継続していく。	
		・あいさつができるようにする。	・「特別の教科 道徳」の授業を充実させる。	・人との関係性には「配慮が必要」ですし「難しい」とも多いと思いますが、誠実に向き合い、対処していくことが必要だと考えています。	学校生活にあたって、トラブルが全くないということは難しいが、問題が生じた際に、いつでも、いろいろなアプローチで相談・解決につながるような環境を整えていく。
		・児童アンケート、児童個人面談を実施して、児童の実態把握に努め、【いじめ】【不登校】【体罰】がないようにする。	・「特別の教科 道徳」の授業を充実させる。	・人との関係性には「配慮が必要」ですし「難しい」とも多いと思いますが、誠実に向き合い、対処していくことが必要だと考えています。	学校生活にあたって、トラブルが全くないということは難しいが、問題が生じた際に、いつでも、いろいろなアプローチで相談・解決につながるような環境を整えていく。
	・体力向上	・体育科授業を改善・充実させる。	・「特別の教科 道徳」の授業を充実させる。	・外部講師も充実し、良質な授業を展開している。 ・先生の評価は低いですが、子供たちは体育の授業が楽しいという子が多いので、やっぱり体を動かすことが気持ちいいのだなと思いました。	コロナ禍で体育の授業も制限され、授業実施も配慮が必要だった。そのような中だからこそ、体を動かすよさを児童が感じられるように授業改善に取り組んでいく。
		・新体カテストの結果を生かし、体力の向上を図る。	・「特別の教科 道徳」の授業を充実させる。	・コロナの影響で制約も多いですが、効率的に体力向上が図れる工夫を望みます。全校朝会や集会を教室での放送で実施している場合、1年生は立ったまま人の話を聞く経験もなく、姿勢を保持できない保持できない子もいます。 ・今年度は、なかなか実施が難しかったのではと思います。	コロナ禍で体育の授業も制限され、授業実施も配慮が必要だった。そのような中だからこそ、体を動かすよさを児童が感じられるように授業改善に取り組んでいく。
		・休み時間、外で元気に遊ぶ習慣を定着させる。	・「特別の教科 道徳」の授業を充実させる。	・「誰か一人は必ず子供が外で遊んでいる」 ・できる遊びも限られますが、看護当番の先生が積極的に子供たちと遊んであげてほしいと思います。	看護当番は全体の安全管理が中心となっているが、クラス遊び等、担任など教員も一緒になって遊ぶ機会を確保していく。
		・毎日を「元気で過ごす」態度を定着させる。	・「特別の教科 道徳」の授業を充実させる。	・「誰か一人は必ず子供が外で遊んでいる」 ・できる遊びも限られますが、看護当番の先生が積極的に子供たちと遊んであげてほしいと思います。	看護当番は全体の安全管理が中心となっているが、クラス遊び等、担任など教員も一緒になって遊ぶ機会を確保していく。
	・保健指導・安全教育	・学校安全計画に基づき、危険なことや事故から自分を守る力を育てる。危険なことや事故から自分を守る力を育てる。	・「特別の教科 道徳」の授業を充実させる。	・自転車のヘルメットについては、家庭への指導も必要と思えます。 ・教えられるより、子供自身で考えられるような伝え方を、学校でも、家でもやっていけたらと思う。 ・児童の避難訓練を行い、児童は自分がどうすればよいかわかっていて、スムーズに動いていました。	警察署の協力も得ながら、自転車のルールやマナーを児童だけでなく保護者にも伝えていく。 避難訓練もマンネリ化してしまわないよう、想定などを工夫しながら段階的に自ら考え行動できるような訓練にしていこう。
		・特別支援教育の充実	・「特別の教科 道徳」の授業を充実させる。	・「誰か一人は必ず子供が外で遊んでいる」 ・できる遊びも限られますが、看護当番の先生が積極的に子供たちと遊んであげてほしいと思います。	教職員が、短時間でも情報共有できる機会を設けたり、文書で回覧することで情報共有する仕組みをつくっています。
		・食育の推進	・「特別の教科 道徳」の授業を充実させる。	・「誰か一人は必ず子供が外で遊んでいる」 ・できる遊びも限られますが、看護当番の先生が積極的に子供たちと遊んであげてほしいと思います。	おすすめ図書に出てくるメニューを給食に取り入れるなど、子供たちの食に対する興味や関心をひく取組を行っています。おしやべりしながらの食事といったところはできませんが、食事の大切さ、食べられることへの感謝の気持ちなどを日々の食事を通じて指導を続けていきます。
確かな学力の定着と向上	・計画に基づいた指導	・「特別の教科 道徳」の授業を充実させる。	・「誰か一人は必ず子供が外で遊んでいる」 ・できる遊びも限られますが、看護当番の先生が積極的に子供たちと遊んであげてほしいと思います。	状況が変化しやすいからこそ、きちんと事前に計画を立てておき、変更にも柔軟に対応できるようにしていく。	
		・1単位時間の授業時間をしっかりと確保し、授業時数を確保する。	・「特別の教科 道徳」の授業を充実させる。	・「誰か一人は必ず子供が外で遊んでいる」 ・できる遊びも限られますが、看護当番の先生が積極的に子供たちと遊んであげてほしいと思います。	状況が変化しやすいからこそ、きちんと事前に計画を立てておき、変更にも柔軟に対応できるようにしていく。
	・基礎的・基本的な学習内容の定着	・算数科で習熟度別学習(3~6年)、TT体制(1・2年)を行い授業の充実を図る。	・「特別の教科 道徳」の授業を充実させる。	・「誰か一人は必ず子供が外で遊んでいる」 ・できる遊びも限られますが、看護当番の先生が積極的に子供たちと遊んであげてほしいと思います。	算数(数学)・英語など小中一貫教育の連携とも関連して、情報の共有を図っていく。
		・朝学習「春日タイム」や長期休業中の「学力補充教室」などを活用して個に応じた指導の充実を図る。	・「特別の教科 道徳」の授業を充実させる。	・「誰か一人は必ず子供が外で遊んでいる」 ・できる遊びも限られますが、看護当番の先生が積極的に子供たちと遊んであげてほしいと思います。	算数(数学)・英語など小中一貫教育の連携とも関連して、情報の共有を図っていく。
	・探究的な学習活動の実施	・総合的な学習の時間や生活科で探究的な学習を実施する。	・「特別の教科 道徳」の授業を充実させる。	・「誰か一人は必ず子供が外で遊んでいる」 ・できる遊びも限られますが、看護当番の先生が積極的に子供たちと遊んであげてほしいと思います。	算数(数学)・英語など小中一貫教育の連携とも関連して、情報の共有を図っていく。
		・学習習慣の確立	・「特別の教科 道徳」の授業を充実させる。	・「誰か一人は必ず子供が外で遊んでいる」 ・できる遊びも限られますが、看護当番の先生が積極的に子供たちと遊んであげてほしいと思います。	算数(数学)・英語など小中一貫教育の連携とも関連して、情報の共有を図っていく。
	・研究・研修の充実	・自己申告時の授業を公開する。	・「特別の教科 道徳」の授業を充実させる。	・「誰か一人は必ず子供が外で遊んでいる」 ・できる遊びも限られますが、看護当番の先生が積極的に子供たちと遊んであげてほしいと思います。	発表会に向けて、メールやオンラインなども含めた小中の連携を随時実施していく。
		・小中一貫教育のために9年間を見通して各学年の基礎・基本の力を身に付けさせる。	・「特別の教科 道徳」の授業を充実させる。	・「誰か一人は必ず子供が外で遊んでいる」 ・できる遊びも限られますが、看護当番の先生が積極的に子供たちと遊んであげてほしいと思います。	発表会に向けて、メールやオンラインなども含めた小中の連携を随時実施していく。
	・保護者・地域の力を生かした教育活動の推進	・「特別の教科 道徳」の授業を充実させる。	・「誰か一人は必ず子供が外で遊んでいる」 ・できる遊びも限られますが、看護当番の先生が積極的に子供たちと遊んであげてほしいと思います。	・学校支援コーディネータ制度を活用し、積極的に外部講師を呼び、充実させている。 ・PTAでも行事が全て中止になり、残念だなと思うこともありますが、その分、休校で止まっていた学びを取り返しにあられたらよかったと思います。今後は行事の準備で時間をとられないような、気軽に行ける行事を考え、学校・保護者の負担を減らしてもらえたらと思います。 ・学習を良く理解している人に教えていただくのは良いと思う。解らない人では、子供は混乱してしまうと思います。 ・コロナ禍でありながら、進捗を呼び、写真撮影、フットワーク、本の探検ラリーなど、多くの企画を行い、子供たちの学習に役立ったのではと思います。	コロナ禍で外に出かけられないからこそ、多くの方に学校に来ていただき、貴重な経験をすることができた。エアーコン設置されている体育館を有効活用し、密の状態にならないようゲストティーチャーによる授業を継続して実施していく。